



平成 29 年度土木学会東北支部技術研究発表会に参加しました(2018/3/3)

場所：日本大学工学部（福島県郡山市）

参加者：Suppasri 准教授, Kwanchai 研究員, 牧野嶋 (D2), 戸川 (M2), 長谷川 (M2), 大竹 (M1), 馬場 (M1), 倉本 (B4), 新家 (B4)

3月3日に、日本大学工学部（福島県郡山市）で土木学会東北支部が「土木学会東北支部技術研究発表会」が開催されました。同会は土木工学の進歩および土木技術の向上を図り、学術文化を発展させるために毎年度開催され、研究発表による情報共有や交流が行われています。本年度は発表者として以下のメンバーが参加しました。発表者の講演内容は以下の通りです。※下線は発表者

- Kwanchai Pakoksung・Anawat Suppasri・Fumihiko Imamura：Tsunami Economic Losses of the Nankai Earthquake in Kochi Prefecture Estimated with Scenario Base of Input-Output Modeling
- 牧野嶋文泰・今村文彦・安倍 祥：津波避難シミュレーションを用いた特定避難困難地域の抽出に関する検討
- 戸川直希・佐藤翔輔・今村文彦・巨理町役場 遠藤匡範：住民主体による総合防災訓練の経験と実災害における対応—宮城県巨理町における事例—
- 長谷川夏来・サッパシー アナワット・牧野嶋文泰・今村文彦：東日本大震災での建物被害データに基づく建物棟毎の流失確率予測式の提案
- 大竹拓郎・Suppasri Anawat・今村文彦：各地域の津波波形に着目したグローバル津波ハザード評価
- 馬場亮太・佐藤翔輔・今村文彦：津波からの水平避難と避難誘導サインの視認性に関する検討—宮城県名取市閉上の事例—
- 倉本和俊, Suppasri Anawat, 今村文彦：多数の地震シナリオの検討による仙台湾の津波増幅特徴の評価
- 新家杏奈・佐藤翔輔・川島秀一・今村文彦：気仙沼市における過去の震災伝承の実態把握—津波による人的被害軽減に向けて—



牧野嶋 (D2)



戸川 (M2)



長谷川 (M2)



大竹 (M1)



馬場 (M1)



倉本 (B4)

(文責：今村, 新家)